

建築施設LED照明器具に係る仕様書

光源（LED）仕様等

LED直管ランプ

- A) G13口金LED直管ランプとする。
- B) ランプに電源を内蔵した製品とすること。
- C) 安定器をバイパスし、直接ソケットに給電するよう施工し、LEDランプに取り替えること。
- D) また、正常且つ安全に使用するために必要な調整及び工事を行うこと。
- E) 劣化しているソケット、電線については交換し、安全に設置するものとする。
- F) J LMA 3 0 1 「AC直結G13口金直管LED光源－安全規格」に適合した機器とすること。また、機器納入役割により適合を書面にて証明できること。

LEDベースライト、LEDスクエアライト

- A) ライトユニット型とし、LEDユニットが交換可能なタイプとすること。
- B) ライトユニットを交換する際に、光束、色温度、調光、グレア対策を選択肢として保有していること。
- C) 埋込型照明器具を交換する場合は、埋込寸法による隙間が生じないように処置を行うこと。また、直付型照明器具を交換する場合は、既存器具の取付跡が見えないよう配慮すること。

LEDダウンライト

- A) 既存埋込穴に対応するLED照明器具がない場合は、リニューアルプレートで対応すること。

LED高天井器具

- A) 日本照明工業会規格 技術資料A127「照明器具の耐震設計・施工ガイドライン」の耐震設計基準（照明器具の区分：一般照明器具、施設区分：特定の施）：耐震クラスS2に適合すること。
- B) 光源（LED）の寿命は60,000時間以上（光束維持率85%）とする。
- C) 無線調光式を提案する場合、周波数帯域は問わないが、既設通信設備と干渉せずに正常動作を確保できる仕様であること。
- D) 必要に応じて、下面ガードを設置すること。
- E) ワイヤで落下防止措置を講ずること。
- F) 原則として、躯体に直接固定し設置することとし、それ以外の方法で設置する場合は、当市と協議すること。

LED投光器

- A) 既存の架台に取り付け可能なLED機器とすること。
- B) ワイヤーで落下防止措置を講ずること。
- C) スポーツ施設に使用する投光器は、詳細現地調査・省エネ設計時に、施工前後の想定照度分布図を提出することとし、当市と協議を行うこと。

LED誘導灯

- A) 消防法に定める器具とすること。
- B) 光源「LED」の寿命は60,000時間以上とする。
- C) 定められた期日までに、消防に改修に伴う申請を行うこと。またその際、現行消防法における改善等を指摘された場合は、別途当市と協議すること。

その他仕様

調光機能

- A) 既存照明器具が調光機能を有する場合は、LED機器も同様に調光機能を有する機器を選定すること。「既存照明・提案LED照明リスト及び省エネ試算表」にて【調光希望】とある箇所は、新規にて調光システムを導入すること。

防雨・防湿機能

- A) 既存照明器具が防雨・防湿機能を有する場合は、LED機器も同様に防雨・防湿機能を有する機器を選定すること。「既存照明・提案LED照明リスト及び省エネ試算表」にて【防雨・防湿型へ変更】とある箇所は、防雨・防湿対応のものを導入すること。

人感センサー機能

- A) 既存照明器具が人感センサー機能を有する場合は、LED機器も同様に人感センサー機能を有する機器を選定すること。「既存照明・提案LED照明リスト及び省エネ試算表」にて【人感センサー希望】とある箇所は、新規にて人感センサー機能を導入すること。人感センサーのタイプ（器具内蔵もしくは別置）は設置箇所の特性に合わせて決定すること。

デザイン灯の維持

- A) 「既存照明・提案LED照明リスト及び省エネ試算表」にて【デザイン維持希望】とある箇所は、既存のデザインを維持すること。